

CITY OF JOY

そばに愛する人、
愛する街があるから。

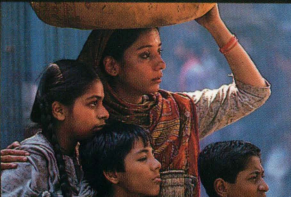


シティ・オブ・ジョイ

「キング・フィールド」「ミッション」のローランド・ジョフィ監督が愛と哀しみと怒りの街インド、カルカッタを舞台に命の輝きを描く。

監督：ローランド・ジョフィ
Directed by ROLAND JOFFE

共同製作 シェイク・エハーツ、ローランド・ジョフィ
製作助手 イェイン・スミス 脚本 マーク・メトフ
音楽 エンニオ・モリコーネ 撮影監督 ビーター・ビシウ
プロダクション・デザイナー ロイ・ウォーカー
編集 ケーリー・ハンフリンク
原作 ドミニク・ラビエル
脚本のクレジット：シノブ・イシハラ



パトリック・スウェイジ
PATRICK SWAYZE

ホーリン・コリンズ オム・プリ
PAULINE COLLINS OM PURI
シャバナ・アズミ アート・マリク
SHABANA AZMI ART MALIK

1992年 アメリカ映画 ライトモチーフ製作
配給：日本ヘラルド映画



アカデミー賞作品

カンヌ・グランプリ作品

「キリング・フィールド」、「ミッション」に引き続き、

巨匠ローランド・ジョフィを舞台に

“生きる”意味を問いかける感動の巨篇を完成!

シティ・オブ・ジョイ

大作感溢れる作風と真摯な姿勢で、不当に虐げられた人々の抵抗精神をエネルギッシュに映像化して、常に高い評価を得てきたローランド・ジョフィ監督。アカデミー賞3部門に輝いたデビュー作「キリング・フィールド」ではカンボジア戦争の戦慄すべき実相を、カンヌ国際映画祭でグランプリを獲得した「ミッション」では18世紀の南米に起きたインディオの殺戮を描き、世界中に大きな衝撃と深い感動を与えたことはいまだ記憶に鮮烈である。そのジョフィが今回取り組んだのは、イ



ンドである。かつては“東洋のバリ”とまで呼ばれながら、いまや数十万人もの人々が路上での生活を余儀なくされているという、厳しい現実を持つ都市カルカッタ。この街に生きる人々の活力溢れる姿を、異邦人たる若きアメリカ人医師の目を通して豊かな生命の叙事詩に描き上げたのが本作「シティ・オブ・ジョイ」だ。原作は世界12ヶ国以上で300万部ものベストセラーとなったドミニク・ラビエールの大型ノンフィクション『歓喜の街カルカッタ』。「キリング・フィールド」「ミッション」に連なる三部作完結篇とも言うべき、ジョフィ入魂の一作である。

人生の意味を見失い、悟りと救いを求めてインドへとやってきたアメリカ人の青年医師マックス。干ばつと飢饉のために故郷ベンガ

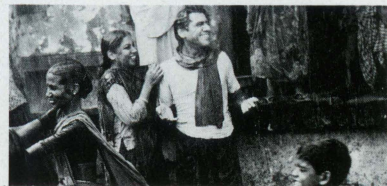
ルを去り、生活の糧を求め、家族とともにカルカッタへと出てきたハザリ・パル。この全く異なる人生の十字架を背負った二人の魂が「歓喜の街(シティ・オブ・ジョイ)」で運命的に交差した時、そこに立場の相違を越えた友情が生まれて行く。ハザリは地元を仕切るマフィアのボスの保護を得て、人力車の車引きの仕事につく。一方マックスは、スラムの診療所で働くアイルランド人のジョアンから、患者を診るのを手伝って欲しいと頼まれるが、自棄的な心情から抜け出せないマックスは、その頼みを受ける気になれない。だが、極限状況下でありながらも逞しさと高潔さを失わぬ人々のエネルギーを目のあたりにするうちに、いつの間にかマックスは彼らのために尽力するようになって行く。そして、街の住民たちとともに、彼らを搾取するマフィアの横暴に対して立ち上がるのだが……。

“この作品は、いついかなるときにも、気高い選択を忘れない人々への讃美歌なのです”とジョフィ監督は語る。その日一日を生き抜くことが戦いであり、勝利であるときさえ見える現実の中で決して家族への愛を忘れず、明るさを失わない人々。その生命の輝きに、マックスは今までの生き方から一歩踏み出そうとする。この「シティ・オブ・ジョイ」は、



大地の底から朗々と響く命の讃歌が聞こえてくるような、ヒューマンな精神に貫かれた感動巨篇である。

主人公マックスを演じるのは「ゴースト／ニューヨークの幻」で人気沸騰のパトリック・スウェイジ。ジョアン役には「旅する女／シャーリー・バレンタイン」のポーリン・コリンズが当たる。インド映画界からは社会派のオム・プリと、「マダム・スザーツカ」のシャバナ・アズミが参加している。



撮影はカルカッタの港湾地帯に8週間かけて建設されたセットで、2万人のエキストラを動員して行われた。撮影監督は「ミシシッピ・バーニング」でオスカーを受賞したピーター・ビジウ。140万ドルを投じて作られたセットを設計したのは、「バリー・リンドン」でアカデミー賞を受賞したロイ・ウォーカー。そして「スター・ウォーズ」「エイリアン」を手かけた特撮監督ニック・アルダは、モンスーンの迫力ある大雨と洪水を再現してみせた。音楽は映画音楽界の巨匠エンニオ・モリコーネが担当する。

CITY OF JOY

監督:ローランド・ジョフィ

パトリック・スウェイジ/ポーリン・コリンズ

音楽:エンニオ・モリコーネ

原作:ドミニク・ラビエール(『歓喜の街カルカッタ』河出書房新社刊)

1992年/アメリカ映画 DOLBY STEREO

5月30日(土)のロードショー!

前売鑑賞券発売中(一般券1,400円/学生券1,200円/ペア券2,600円)

伊勢丹前・明治通り側

新宿文化シネマ1

03
(3354)
2097